

佈 告

阿片ノ吸食ハソノ由來スル所古ク日當習慣ニ侵潤スル所深シ、内自ラ壽財ヲ消耗シ外列國ノ輕飮テ報ル、承ク此ノ陋習ヲ脫離スルコト能ハサルトキハ建國ノ精神ニ照シテ寃ニ遺憾ニ堪ヘサル次第ナリ蓋シ阿片制度ノ適否ハ國家ノ隆替ニ關スル重要問題ナリ、今々我カ滿洲國ノ建設成リ庶政革新ノ秋ニ際會ス、速力ニ根本方針ヲ確立シ以テ禁煙ノ方途ヲ尋スルニアラザレバ將來其ノ弊益々漏泄シ終ニ抜クベカラサルニ至ルベシ。

然リト雖モ當時ノ體度ノ如ク現存スル多數有者ノ處置テ度外シテ一ニ之ヲ行ヒントスルハ尠モ未だテ治メズシテ其ノ下流ヲ遮断スルニ等シク其ノ政策ヲ訓リタルセノト謂ハザルベカラズ、之レ風ニ禁煙ノ法密摺御セルニ極ラズ實モ其ノ實神ヲ奏セサル所以ナリ。

此ノ稽坐ノ結果テ既至セニハ須ラク禁煙主義ニ基ク執着深刻方策ヲ採リ、一概ニハ呑煙ヲ廢絶シ既而ニ瘾ニ附リタル者ニ限り教導上吸烟ヲ認ムルト共ニ、教導

rec. No. 1499

ノ機関ヲ構設シテ機器ノ救濟ニ努メ、又教化其ノ他ノ社會施設ニ依リ人民ノ自  
覺ヲ喚起シテ新進者ノ發生ヲ防遏シ以テ舞風ノ済渡機關ヲ圖ルヘシ、之レ世界  
各國ノ制度ノ實質ニ徴シ故ニ有效通切ナル表題方針ナリト確信ス、依テ政府ハ  
以上ノ方針ニ開リ大同元年十一月三十日政令作一一一號ニ以テ門片法ヲ公布シ  
以テ所期ノ目的ヲ達成セムトス一般民衆寛ク立法ノ主旨ヲ悟シテ自省シテ以  
テ去頃新進ノ大業ニ遺背ナカラムコトヲ期スベシ。

大同元年十一月三十日

門務總理 鄭 孝

三

2

Ref. No. # 978

文書ノ出所並ビニ成立ニ關スル證明

カマタヨシヲ

自分  
田長夫ハ、茲ニ添付セラレタル、自分ノ舊ニカカハル、昭  
和七年ノ内閣總理大臣布告ハ、「滿洲國政府告示ノ阿片法及ビ取締  
規則」ト越スル資料ヨリ自分ガ該シタル正確ニシテ完全ナル寫シナ  
ルコトヲ證明ス。

昭和二十二年四月十一日

篠田良夫